

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					
きらきらほし		2026/3/20					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	現在、児童発達支援のお子さんは1名であり、支援室のスペースとしては十分であると思います。 布団やマットをずらし、スペースの確保をしたり、机や椅子を活用して子ども達に活動する場所と寝てゆっくりする場所を分かりやすくしている。ベッドや布団、マットなどを利用し、子ども達が安全に過ごせるようにしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	利用人数と同数か、+1名以上の職員の配置がある。 1対1になるくらい職員は配置されている。	職員が数人病欠した場合は、人手が足りない可能性も出てくるため、今は問題ないが今後の課題になるかと思う。 1対1になるくらい職員は配置されている。長期休暇や土曜日などの学校休業日は、放課後等デイサービスの子も同じ時間の利用になるため、1人の利用者に対して手薄になることもある。	療育玩具の棚を子ども達が使いやすいように、工夫していきたいと思う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	生活空間は子どもに、わかりやすい構造になっていると思う。 毎回、起きたことに対して話し合い、すぐに対処したり、環境を変えたりすることができており、とても良い。 パーテーションの色を工夫（気持ち落ち着く色など）している ペットがある。 「トイレ」「お風呂」など、文字とイラストで表示している。また、同じイラストを使ったスケジュールボードを使用し、ひとりひとり対応している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	ほぼ毎日清掃ができており、清潔な空間になっていると思う。 毎日、掃除と消毒液を使用している。 毎日清掃、消毒をしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	個別の部屋や場所はないが、職員のロッカーを個別の場所として使用することは可能。また、必要時にはパーテーションを使用している。 仕切りを活用して、子どもが落ち着くことができるスペースを作ったり、別室に移動したりすることができている。 クールダウンが必要であれば別室を準備できる様になっている。 個別に対応が必要な時は、相談室や脱衣所などを利用している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	9	0	業務改善のための研修や職場会議、チーム活動など積極的に行っていると思う。 月に一度管理者との面談を計画している。 年2回、目標設定と管理者による振り返りの面談を行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	3		保護者向け評価表の手を知らず。 初年度のため、保護者評価は行ってない。 朝礼や終礼にて情報交換したりアプリを使用して記録を残している。 今年度からなので、まだできていない。今後、行っていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	1on1などで、意見を言う機会があります。 1on1を行っている。 月に一度職場会議を開催して職員の意見を出し合い記録している。 毎月の職場会議で話し合い、改善している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4		第三者による外部評価を知らず。 初年度のため、評価を行ってない。 第三者による外部評価が実施されていないと思う。 今後、必要になれば、取り入れていく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	研修を受講する機会はありません。内容によっては、自費や有給休暇をとらないといけない場合もあります。 毎週向上のための研修や、情報共有の時間を確保しており、とても良い時間となっている。 職場会議等で研修案内を行ったり、法人内でもチーム学習会を行っている。 個人的に研修に参加したり、研修後の情報開示を実施している。事業所内での研修も実施されている。 外部研修や職場内での法廷研修を行っている。外部研修は、職場会議時に職員にフィードバックしている		
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	1	個別支援計画書に従って支援を実施し、アプリにて保護者には結果を伝えられている。 ホームページ上で公表している。	支援プログラムについて知りません。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	半年に1回のモニタリングを見発管が実施している。 初回のアセスメントや定期的なモニタリング、担当者会議時に保護者の話をしっかり聞いて、作成するようにしている。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	児発管が作成した計画書(案)をもとにケアカンファレンスを開催している。 ケア会議で職員の意見を取り入れながら作成している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	1	何度ケア会議を行い話し合っている。 できているところもあるが、毎回の支援に活かされていないところもある。 計画に沿った支援ができるよう検討している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1		標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントについては不明。 どういったアセスメントがされているのか、どうツールがあるのかわかりません。 モニタリング、計画書を作成にする際には確認している。より詳しく把握するために、アセスメントシートの見直しも必要だと感じる。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1		個別支援計画に上記内容が含まれているかわからない。 具体的な内容に設定するようには心がけているが、今後はより詳しくわかりやすくするよう改善も必要だと感じる。	

提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	チームでの話し合いがもたれていて、それを職員全員に周知出来る様になっている。 児童指導員チームで立案を行い、職場会議で他職員の意見も聞きながら行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	チーム内で話し合いがされている。 季節に応じた活動を行えるようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	決まった活動を個別に行ったり、少人数での集団活動を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	朝礼時にどんなことするのか説明ある。 朝礼にて確認している。 毎朝、朝礼でその日の内容を確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	9	0	終礼で気になることや共有事項を確認している。また参加できなかった職員へは連絡ノートを用いて共有している。 終礼にて振り返りを実施している。 終礼で振り返りを行っているが、送迎の時間等によりできない時もある。 できない時には、連絡ノートで共有するようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	アプリを使用して記録を残している。 個人のケア記録、業務日誌に記録を残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	児発管が半年に一度モニタリングを実施している 半年を1回を目途にモニタリング、計画書の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	児発管が参加している。 主に児発管が、必要に応じて看護師や管理者、機能訓練士など、状況に合わせて参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	協力医療機関の先生に毎月1回来ていただいている。	体制はあるが、担当者会議以外の会議が開催されたり、参加の要請がなかった。 地域との関わりはあまり持っていない。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	3	併用している事業所と情報共有している。	実際にどのように支援や情報共有をしているのかわからない。 管理者や児発管同士で話し合い支援をされてあるが、今後の課題としては、内容を詳しく共有できるといいと思う。 支援を行える体制はあったが、担当者会議以外の会議等の要請がなかった。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	5		実際にどのように情報共有をしているのかわからない。 立ち上げ一年目のため、そのような状況をまだ目にしてはいないという理由で、いいえとしたが、支援のために相互理解を図ると予想される。 現在までに対象者がいなかった。 今まで対象の子がいない。今後、行っていきたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	2	訪問して助言をいただいたり、情報共有などを行っている。今後、研修などを行ってほしい。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	8		今年度はなかったが、地域の施設で活動したり、公園へ出かけたりしており、そごで目にすることはある。今後、活動内容を工夫していく。 近所に保育園や幼稚園があるので、今後交流できる場を設けていきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	HUGにて、普段の様子をお伝えしている。 アプリ内での情報交換を実施している。 アプリの連絡機能や送迎時の会話を通して行っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	1	送迎時などに困り事についてのアドバイスを実施したり、アプリ内での情報提供実施している 個別に依頼があった時には対応している。市などが行っている研修会などの案内はしている。家族対象の研修会は今後行っていきたい。		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	契約時に説明を実施している。 契約時に行っている。	説明はされていると思うが、実際にどのようにされているのかわからない。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	意思表示が難しいお子さんも多いので、家族にはしっかり意向を聞くようにしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	自発管が行っている。 児発管より説明がされている。 初回、更新時に行っている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	1	要望があれば、個別に対応するようにしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	1	パン教室など親子参加型の活動を通して、活動することができた。さらに増やしていくため、土曜日に親子参加型の活動を増やしていく。 親子で参加できる企画を催した際に、保護者間での交流ができていた。来年度以降でそういった機会を増やせると感じた。 パン教室を実施した後に保護者同士での会話思います。これからはもっと、保護者同士が会える時間をつくってかか 家族参加のパン教室などを行い、保護者同士の交流ができる場を設けている。今後も定期的に開催していきたい。	父母の会や保護者会の開催がされたことはない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	その都度、迅速に対応している。大きな苦情はない。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	アプリ内やインスタグラムで発信している。	
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	個人情報の書類は鍵付きのキャビネット等で保管している。		
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	絵カードなどを活用している。		

	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	2		そこまで今年は余裕はなかったが、地域の方と掃除中に挨拶したり、公民館の方と話したり、地域のお店に見学に行ったりはしている。来年度、活動に盛り込んでいきたい。 今後、地域住民との交流ができる場を設けていきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	マニュアルを策定し、定期的な訓練を行っている。全てを保護者に周知はできていない。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1	策定し、定期的に訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	アセスメント時に確認している。	
	48	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	3	フェイスシートにて「その他の留意点」の欄を設け、必要に応じて医師の指示を仰ぐようにしている。	医師の指導書にアレルギーについての記載があるか覚えていない。今後、必要であれば指示書をもらうようにする。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	作成し、定期的に研修等を行っている。安全には充分注意するよう日頃から意識している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	2	家族への周知は今後行っていく。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	書類の回覧や職場会議で共有、検討をしている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	定期的に研修を行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0	対象者がいれはするようにしているが、今は対象者がいない。	